

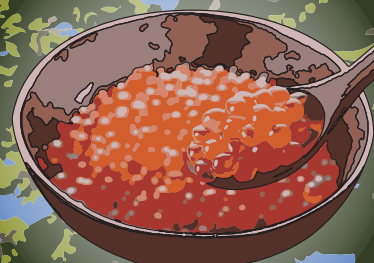
# 株主通信



ゆめぴりか



夕張メロン



いくら



牛乳



札幌市時計台

日本の  
特産品

北海道編



詳細は  
10ページへ！

木徳神糧は、コメビジネスを通して国内のみならず、世界中の消費者にコメ・コメ関連食品の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

## 企業価値

木徳神糧グループは、次のことに価値をおきます。

- 常にお客さまのニーズに応えます。
- お客さま、お取引先、株主、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を大切にします。
- 社業の発展を通じて社会に貢献します。

### 米穀事業

家庭用・業務用の精米の製造販売、玄米の販売を行い日本の主食であるコメの安定供給に全力を注いでいます。

### 食品事業

製菓及び加工食品用米粉、たんぱく質調整米や米糠を原料とする米油など、コメ加工食品の製造・販売を行っています。

### 飼料事業

国内配合飼料メーカー等への糟糠類、輸入牧草などの飼料及び飼料原料の販売を行い、畜産業の発展に貢献します。

### 鶏卵事業

鶏卵、鶏卵加工品を販売。鮮度管理に万全を期し、農場とパック卵工場を直結させた物流体制をとっています。

Strong Point

## 米穀事業編

### 様々な工夫で安定供給を確保

お米の美味しさはもちろんのこと、いつでもどこでも手に取れる安定的な供給が大手広域卸としての責任です。

各産地からの素早い情報収集はもちろん、仕入ルートの多様化や提携工場の拡大を継続し、お客様の信頼にお応えします。



### 木徳神糧のお米の美味しさの理由

美味しいお米をあたりまえに供給できるのは、今までの長い歴史で蓄えてきた原料分析データや加工技術があるからです。

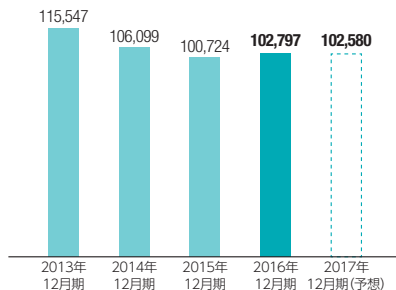
全国各工場では品質管理レベルの維持向上を図り、安全・安心、そして美味しいお米をお届けする努力を続けています。



## 連結財務ハイライト

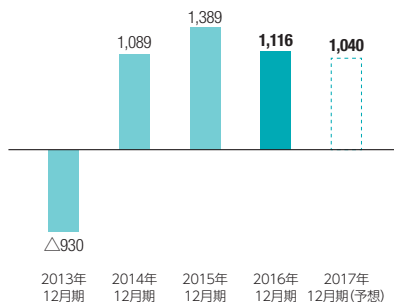
## 売上高

(単位:百万円)

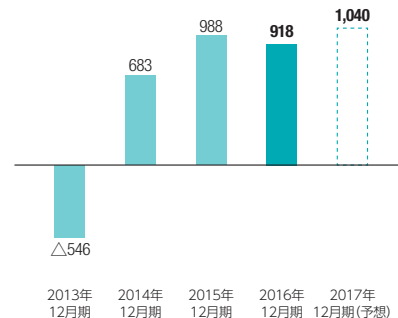


## 経常利益

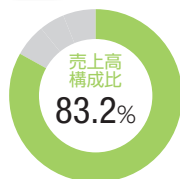
(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



## 米穀事業



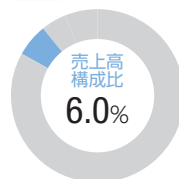
売上高 **85,501**百万円  
(前年同期比6.4%増)

営業利益 **1,590**百万円  
(前年同期比13.1%減)

- 卸業者、中食・外食向けの販売数量およびミニマム・アクセス米の取扱数量が増加したことにより増収
- 家庭用精米販売の採算悪化により減益



## 食品事業



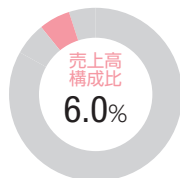
売上高 **6,198**百万円  
(前年同期比23.2%減)

営業損失 **38**百万円  
(前年同期は35百万円の営業利益)

- 鶏肉を取り扱う連結子会社の譲渡等により大幅に減収
- 台湾に建設したたんぱく質調整米の製造工場の稼働の遅れに伴い費用が先行し減益



## 飼料事業



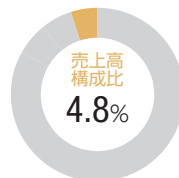
売上高 **6,208**百万円  
(前年同期比15.3%減)

営業利益 **323**百万円  
(前年同期比9.1%増)

- 飼料原料相場が値下がりしているなか、牧草や糟糠類の販売数量減少により減収
- 販売費用の削減により増益



## 鶏卵事業



売上高 **4,889**百万円  
(前年同期比1.6%減)

営業利益 **5**百万円  
(前年同期は14百万円の営業損失)

- 業務用向けの鶏卵加工品の販売が大きく伸びたものの、鶏卵相場の下落により売上は微減
- 利益率の改善に注力したことにより黒字転換

## 事業モデルの変革を成し遂げ 新たな可能性を開拓しながら 真のグローバル企業を目指します

代表取締役社長

平山 惇



Q

2016年12月期の業績について  
お聞かせ下さい。

A

売上高はほぼ期初計画どおりとなりましたが、  
利益面では家庭用精米の採算悪化等により  
減益となりました。

主力の米穀事業において、平成28年産米の価格は、平成27年産米に続き2年連続で大幅に前年同期を上回る水準で推移するなか、家庭用精米の販売は低迷したものの、卸業者向けの玄米販売、中食・外食向けの業務用精米販売が順調に推移しました。また、販売単価は前年同期を下回ったものの、ミニマム・アクセス米の取扱数量が大幅に増加したこともあり、連結売上高は、前年同期比2.1%増となる1,027億97百万円とほぼ期初計画通りの着地となりました。

利益面では、飼料事業と鶏卵事業は前年同期を上回る利益を確保しましたが、米穀事業において家庭用精米販売の採算が悪化したこと、食品事業において台湾に建設したたんぱく質調整米

の製造工場の稼働が遅れ、費用が先行していることなどにより、営業利益は前年同期比23.4%減の10億61百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、食品事業に属する連結子会社の株式譲渡等による特別利益を計上した一方で、業務効率化・従業員増加への対応を図るため、2016年9月に実施した、オフィス機能の集約および利便性の高い立地への本社移転等に伴う特別損失の発生もあり、前年同期比7.1%減の9億18百万円となりました。

Q

中期経営3カ年計画の成果は  
いかがでしょうか。

A

3つの成長戦略ともに、一定の成果を  
得ることができたと感じています。

1つ目の成長戦略に掲げた「広域卸の機能強化・仕入れルートの多様化」については、いわゆる全農に加え、各県本部や単位農協、

生産法人との直接取引など、仕入手法の多様化が進んだことにより、リスクの低減に加え、販売コストの削減、在庫管理の徹底などにも成果が現れました。当社に、真摯に向き合ってくれる産地が増えてきている実感もあります。

広域卸の機能強化では、需要拡大が続く九州地区における新たな精米拠点として「JA食糧さが」に出資し、同社工場の稼働率を高めたほか、従来、精米業務を委託してきた「純情米いわて」に出資し、関係強化を図るなど、業界に先んじた取り組みを実践し、ある程度のインパクトを残すことができたのではないかと考えています。近い将来、大きな業界再編が起こると予想されるなか、今後も安定かつ効率的な供給を担う広域大手卸としての役割をより強く意識した取り組みに成果を残し、より機能的に業界発展に貢献していきたいと考えています。

2つ目の成長戦略として、国内家庭用精米の市場が縮小を続けるなか、海外ビジネス拡大の取り組みがさらに重要になるという認識のもと、「日本米・ジャポニカ米市場の創造と開拓」にも力を入れてきました。その一環として、2016年11月には、巨大消費市場である中国向けに日本米の輸出を開始しました。まず、上海地区へ北海道産米「ゆめぴりか」12トンを初輸出しましたが、非常にセンセーショナルな出来事として評価いただきました。まだ少量

ではありますが、次なる中国ビジネスの足がかりとして大きな一歩となったという手応えを得ており、今後もさまざまな工夫を凝らしながら、中国市場での取り組みを拡大させていく計画です。

また、従来進めてきたベトナム産ジャポニカ米の販売拡大に加え、2016年より、コシヒカリなど良質で価格競争力のあるジャポニカ種ブランド米の作付けをベトナム北部で開始しました。さらにベトナム北部のハノイ近郊での契約栽培量を拡大させるとともに、ハノイ西北に位置するプートー省でも作付けを開始し、ジャポニカ種ブランド米の取り扱いをさらに拡大させる計画です。ベトナム北部のジャポニカ種ブランド米を品揃えに加えることで、さらに幅広い提案の選択肢を実現し、これを強みとして、ベトナム国内をはじめ、シンガポールやマレーシア、香港等の第三国でのさらなる販売拡大に努め、順調に拡大している海外ビジネスをより加速させていく考えです。「メイドバイジャパン」という海外における日本の技術による高品質米の生産は、競合他社に真似できない当社の強みの一つです。

3つ目の成長戦略「付加価値商品の拡大」については、酵素を用いたたんぱく質調整米「真粒米」の本格生産に向け、連結子会社の台湾木徳生技(屏東県、台湾グリーン・バイオパーク)での取り組みが進捗しています。また、日本

国内の家庭用精米市場に向け、「健康志向」や「小容量」「保存性」「利便性」「話題性」等に着眼したテーマ性のある商品開発にも成果が出ています。最近では、食物繊維が豊富で注目が集まっている「もち麦」を「ゆめぴりか」に混合した新商品の販売を開始しました。200g(3合)の食べきり小容量サイズで、そのまま炊ける手軽さと独特の食感が評価され、順調に販売が拡大しています。引き続き、第2弾、第3弾と家庭向け商品の開発を進め、一般消費市場においても当社の認知度、存在意義を高めていきたいと考えています。

Q

**株主の皆さまへのメッセージをお願いします。**

A

**取り巻く経営環境が大きく変容するなかで、一歩先んじて変化を読み取り、迅速に対応していきます。**

政府が農政と関連制度の変革を進める一方、消費者のニーズと市場も大きく変化しており、生産者のみならず、私たち流通業界も高収益性を実現するビジネスの仕組みを常に模索しながら、変化に迅速に対応する力が必要とされています。当社も従来の米穀卸売業の延長ではなく、加工も含めて、より大きな存在意義を見出していかなければ、もはや生き残ってはいけません。

これからは、国内事業での存在意義を高め

る活動はもとより、海外事業のさらなる拡大を目指した取り組みに注力すべき段階になります。これまでは、東南アジア向け、特にシンガポールや香港、マレーシア向けが海外事業の主たるビジネスでしたが、これからの新たなターゲットは、中国、そしてヨーロッパの国々になります。こうしたエリアにも日本米を販売し、世界の食市場において存在意義を高めていくことが、未来に向けての大きな変革に繋がると考えます。

2017年12月期も当社グループを取り巻く経営環境は依然厳しく、売上高は前年並み、利益指標としては、国産米を取り巻く環境の変化への対応や海外における事業拡大のための先行投資の発生、販売競争の激化等による影響を鑑みた業績予想としています。

当社は決して、急速拡大するような企業ではありませんが、地道にやるべきことを粛々とやり遂げながら、確実に事業を拡大させ、真にグローバルに存在価値を示せる企業となることを目指しています。

このビジョンを引き継ぎ、実現してくれる次の世代を育て、しっかりとした未来を描く、経営の舵取りの方向を定めてまいります。

株主の皆さまには、引き続き、末長くご支援いただきますようお願い申し上げます。

1

Topics

## 「ゆめぴりか」中国へ初輸出

当社は、ホクレン農業協同組合連合会と、この度初めて「ゆめぴりか」の精米を中国へ約12トン輸出し、それに合わせて2016年11月19日、中国上海市内の高級スーパーであるCity Superにおいてプロモーションイベントを開催しました。

イベントには、北海道高橋はるみ知事、ホクレン佐藤俊彰会長らが出席し、「ゆめぴりか」のトップセールスを行ないました。来場者には「ゆめぴりか」の美味しい炊き方をご紹介しますとともに、現地の日本料理人が調理した海鮮丼をご試食いただき、「みずみずしくておいしい」と高い評価をいただきました。

当社は成長戦略の一つ“日本米市場の創造と開拓”に基づき、日本米輸出の拡大に取り組んで来ましたが、巨大消費市場である中国を加え更なる拡大を図ります。

1月には日本食レストラン向けセミナーも開催し、今後も中国における「ゆめぴりか」の販売活動を積極的に展開していきます。



左：ホクレン佐藤会長  
中央：高橋北海道知事  
右：当社三澤専務



2

Topics

## ハサップ 静岡工場「精米HACCP」認定

当社の東海支店静岡工場（静岡市清水区袖師町）は昨年11月、(社)日本精米工業会による日本初の精米HACCP認定を受けました（当社を含む9ヶ所の精米工場が認定）。HACCP（ハサップ）とは、安全で衛生的な食品を製造するための管理システムの一つで、規格に基づき原材料の入荷から製品の出荷までの工程のマニュアルや管理基準を設定し、問題のある製品の出荷を未然に防ぎます。

海外では先進国を中心にHACCPが義務化され、日本においても今後全ての食品製造業者に義務化される方向が示されています。

益々増加する海外からのお客様にも安全で美味しいお米を安心して召し上がっていただけるよう、展開に取り組んでいきます。



## 執行役員紹介

ヤマダ トモキ  
**山田 智基** (営業本部 海外事業部長 入社20年目)

執行役員(2016年4月1日就任)

海外事業部は、日本産の美味しいお米の輸出に始まり、ベトナムで生産する日本米、アメリカ米などの三国間貿易を通じて、日本の誇る和食文化の普及に努め、現在は世界20カ国以上に販売しています。

また、日本の皆様に世界の美味しいブランド米を紹介したいとの思いから、高級米として扱われているジャスミンライスやバスマティライスの輸入販売も行っています。

今計画しているベトナム事業の新たな展開を機に、当社海外事業をさらに拡大すべく、当部門の優秀なスタッフや、各国の関係会社と共に一丸となって取り組んでいきます。

これからも「メイドインジャパン」「メイドバイジャパン」のお米が世界でますます輝くよう、また世界各地の美味しいお米を皆様に召し上がっていただけるよう頑張ります！



## 当社に入社してからの経歴

## 入社

## アメリカへ留学

入社後、会社の制度を利用してアメリカへ1年間留学し、国際感覚を身に付けました。



## 海外事業部長として活躍

ウェブ会議システムで海外と同時に行う部内会議を進行する山田さん。



## ベトナム駐在

ベトナムの子会社アンジメックス・キトクへ出向。写真中央に山田さんがいます。



## 部下・上司からのひとこと

仕事に対する意識が強く、意識を行動につなげる力があるところが素晴らしいです。



上司



部下

何でもできる方で求めるレベルが高く、成長させてくれるストイックな人です。



# 会社概要・株式情報 (2016年12月31日現在)

## ● 会社概要

商 号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業

本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22

本社所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8  
木徳神糧小川町ビル  
TEL : 03-3233-5121 (代表)  
FAX : 03-3233-5131

資本金 5億2,950万円

従業員数 256名(臨時雇用者を除く)

ホームページ <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

## ● 株式情報

(1) 発行可能株式総数 30,000,000株

(2) 発行済株式の総数 8,530,000株

(3) 株主総数 1,766名

(4) 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村 謙三	405千株	4.77%
濱田精麦株式会社	362	4.26
木村 良	358	4.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.53
株式会社神明	247	2.91
稲垣 辰彌	230	2.71
水野 正夫	228	2.68
木村 友二郎	222	2.61
木徳神糧従業員持株会	192	2.27
株式会社三井住友銀行	186	2.19
農林中央金庫	186	2.19

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(50,376株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

## ● 役員 (2017年3月30日現在)

### 取締役

取締役会長 木村 良  
代表取締役社長 平山 惇  
取締役専務執行役員 三澤 正博  
取締役常務執行役員 天川 誠  
取締役常務執行役員 鎌田 慶彦  
取締役常務執行役員 稲垣 英樹  
取締役常務執行役員 石田 俊幸  
取締役執行役員 竹内 伸夫  
取締役(社外) 秋岡 米子

### 執行役員

執行役員 大橋 正博  
執行役員 岩苔 永人  
執行役員 家辺 義之  
執行役員 石森 好宏  
執行役員 管 益成  
執行役員 山田 智基  
執行役員 金子 泰彦

### 監査役

監査役(常勤) 伊豫田直記  
監査役(社外) 杉野 翔子  
監査役(社外) 福田 眞也

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催いたします。

基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

公告方法 日本経済新聞

# 株主様インフォメーション

## 株主優待

1,000株以上ご所有の株主の皆様には株主優待品を贈呈いたしております。

### 6月末現在の株主様

- 1,000株以上2,000株未満 ▶ 2,000円相当の米穀製品
- 2,000株以上 ▶ 4,000円相当の米穀製品等※

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

### 12月末現在の株主様

- 1,000株以上 ▶ 3,000円相当の米穀製品

## ポイント1

年2回の贈呈

12月末現在の株主の皆様

▶ 3月頃発送

6月末現在の株主の皆様

▶ 9月頃発送

## ポイント2

当社米穀製品をお届けします。

※ 優待内容や商品デザインは、変更する場合があります。

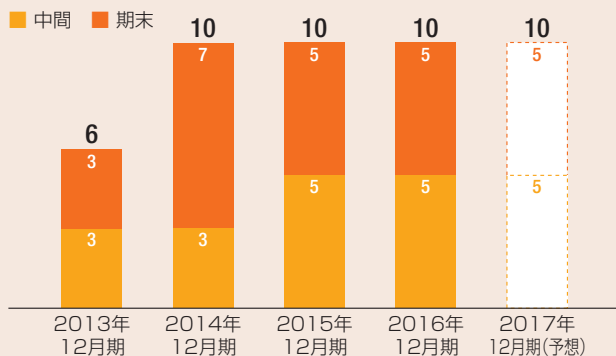


## 配当金

当社は、株主様に対する利益還元を重視する一方、安定的な経営基盤確保のため、内部留保のより一層の充実を目指し、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。

### ■ 1株当たり配当金の推移

単位：円



## IRカレンダー

当社決算発表等に関する上半期の予定を掲載しております。



### 株主アンケートにご協力下さい

株主の皆様のお声から今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施しております。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄りのポストへご投函下さい。何卒ご協力をお願い申し上げます。





## 主食で手軽に食物繊維が取れるもち麦ご飯

無洗米北海道産ゆめぴりか プラス もち麦(300g)

食物繊維が豊富なもち麦と北海道産ゆめぴりかを混ぜた、プチプチ・もちもちとした食感を楽しんでいただける商品です。2合の目盛に合わせて水を入れるだけで簡単に炊ける無洗米でご提供しております。

(株)イトーヨーカ堂様、(株)はくばく様と「健康」を軸に共同開発した商品です。

うるち米の銘柄は、麦を入れてもぼそぼそしない事とお弁当に入れてもおいしく食べられる事を考慮し、炊き上がりが軟らかく、時間がたってもおいしく食べられるゆめぴりかを選びました。おにぎりにしてもおいしいですし、主食で手軽に食物繊維が取れるのもオススメです！



※セブン&アイグループの量販店(イトーヨーカドー、ヨークマート、ヨークベニマル、首都圏のそごう・西武)で販売中(予告無く取扱いを終了する場合があります。)

タムラ モエ  
米穀事業営業部門 田村 萌  
(入社2年目)

日本の  
特産品  
(表紙から)



昨年ホクレン農業協同組合連合会とゆめぴりかを中国に初輸出しました。そんな当社と共にお米のおいしさを世界に発信する北海道の名所や特産品をご紹介します！

### 1 札幌時計台

創建以来130余年この地で札幌の街の歩みと市民生活の変化を見守ってきた時計台は、クラーク博士の提言により、兵式訓練や入学式・卒業式などを行う中央講堂として建設されました。

### 2 夕張メロン

北海道の大地の恵みをたっぷり受けて大きく育った夕張メロンは、果肉が非常に柔らかく、とってもジューシーで、日本を代表するメロンです。

### 5 牛乳

他の地域に比べ湿度の少ないカラッとした空気の中、北海道の大自然の中でのびのびと体を動かし、育ち続けた牛たちから出た乳の味はとて濃厚で、甘みもあり、とてクリーミーでおいしい牛乳になります。

### 2 ゆめぴりか

ほど良い粘りと甘み。そして、炊き上がりの美しさ。その優れた品質から6年連続で最高位の特Aに輝いた「ゆめぴりか」は、「日本一おいしい米を」という北海道民の「夢」に、アイヌ語で美しいを意味する「ピリカ」を合わせて名付けられました。

### 4 いくら

産卵のために沿岸に戻ってきた秋サケのほどよく熟した卵から造ります。このとき卵を取る秋さけの活きの良さと卵の熟し加減ができあがる製品の品質を大きく左右します。



トップページ



IR情報



1分で分かる木徳神糧

より多くの方々に当社を理解していただけるよう、専用コンテンツ「1分で分かる木徳神糧」をはじめ、IR情報やレシピ情報などホームページの充実を図っております。是非ご利用ください。

## 旬の食材を使ったレシピ

簡単料理  
メニュー

# スナック豆の煮びたし

スナックえんどうに卵をからめて柔らかな味わいに。  
一品あるとうれしい、ホットと落ち着く煮びたしです。

材料  
(2人分)

スナックえんどう	100g	えのき	1袋
生わかめ	30g	卵	1個
だし汁	1カップ	しょうゆ	大さじ1/2
みりん	大さじ1.5	塩	少々



- スナックえんどうは筋をとり、塩(分量外)を入れた熱湯でゆで、冷水にとって水気をきっておく。
- わかめは塩抜きして食べやすい大きさに切る。えのきは石づきを切り落とし、長さを半分に切る。
- 鍋にAの材料を入れて火にかけ、スナックえんどう、わかめ、えのきを加える。
- 煮立ったら溶き卵をまわし入れ、火を止める。

調理時間 10分  
カロリー 100kcal  
(1人分)